



おじいちゃん・おばあちゃんの「孫育て」

初めての子育ては不安がいっぱい。そのお父さん、お母さんの一番のサポーターがおじいちゃん、おばあちゃんです。でも世代が違ふと考え方や常識が違ってすれ違ってしまふこともあると思います。今回は孫育てのコツをご紹介します。

孫育ての心得

- ①育児の主役はお父さんとお母さん。あくまでもサポート役と心得て
育児は経験を積むことで親になっていきます。子ども夫婦の方針を聞いてフォローを。
- ②自分たちの育児経験に固執せず、今どきの子育ても受け入れて
子育てを取り巻く環境の変化や医学の進歩により、育児の常識は変わっています。現在の育児を学ぶ姿勢を大切に。
- ③孫を預かるときはしっかり情報収集
食習慣や生活習慣を確認してから預かるとお互いに安心。普段の育児方針を聞いておくこともおすすめです。
- ④お父さんの育児参加の機会を奪わないで
おじいちゃん、おばあちゃんが手を出し過ぎてお父さんのお世話の機会が減るのは残念。
- ⑤よその孫と比べる発言はしないで
孫を思うあまりかけた言葉がお母さんを傷つけてしまうことも。すれ違いからぎくしゃくしてはもったいない。お母さんの気持ちに配慮しながらの声掛けを。
- ⑥自分たちの生活を優先して
体力や気力は少しずつ衰えてきます。頑張りすぎず、忙しい時や体調不良の時は断ることも大切です。

子育ての昔と今

	昔	今
母乳	ミルクの方が栄養がある。	母乳育児が推奨。完全母乳、母乳とミルクの混合、完全ミルク、どんな方法でも良い。
授乳	3時間おきに授乳。	赤ちゃんが欲しがるときに欲しがらだけ与える。
卒乳・断乳	1歳を目安に母親の判断でやめる。	子どもが自然に欲しがらなくなるのに合わせる卒乳という方法もある。
抱っこ	抱き癖がつくからあまり抱かない。	情緒の安定や心の成長のために抱っこはとても大切。たくさん抱っこしてあげる。
うつぶせ寝	寝つきが良くなる。	乳児突然死症候群のリスクが高まるため、あおむけで寝かせる。
虫歯予防	大人の口で噛んで柔らかくして赤ちゃんに与える。	大人の唾液で虫歯菌に感染するため、口移しはせず、箸やスプーンの共有もやめる。
離乳食	生後3～4か月から果汁を飲ませる。	果汁はすすめられていない。5～6か月頃からすりつぶしたおかゆを与える。
白湯	お風呂上りに白湯を飲ませる。	白湯ではなく母乳かミルクを飲ませる。
日光浴	日光浴をしないとくる病になる。	紫外線が増えているため、紫外線の強い時間を避け、直射日光が当たらないように注意して外気浴を。

お父さんやお母さんが笑顔でいられることが、孫への一番のサポートです。自分の子育てより少しゆったりと、おおらかに見守ってください。「ウチの孫」だけでなく、「地域の孫」「地域のおじいちゃん、おばあちゃん」の活躍も期待しています。